

中井宮農経済センターでは仮決算棚卸の為、営業時間を

9月30(金)8:40~12:00まで 10月3日(月)13:00~17:00といたします。

ご利用の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。



【水 稻】

水稻の生育状況

令和4年産水稻の生育状況は、草丈は平年と同等~やや長く茎数はやや多い傾向です。出穂期は平年並みの状況です。今後の気温は高い予報となっていますので、水管理で稲への負担を軽減しましょう。

水管理

出穂後35日(収穫7日前頃)を目安に落水を行いましょ。う。(土壤条件にもよります。)落水が早いと登熟が悪くなります。登熟不良や胴割れを防ぐために、完全落水は収穫作業に差し支えない範囲で出来るだけ遅らせましょ。う。

高温時対策

気温が高くなると品質の低下が起こりやすくなります。その対策として出穂期、登熟期の間断かん水、かけ流し、夜間入水を行いましょ。う。(特に、夜温が高い日はできる限り夜間入水して水温を下げ、稲の呼吸による消耗を防ぎましょ。う)

収 穫

収穫適期は、穂に青籾がキヌヒカリ・はるみ・てんこもりでは15%。さとじまんでは10%残っている時期です。

平年の収穫目安 5月25日田植えの場合

キヌヒカリ・はるみ 9月14日頃 てんこもり 9月20日頃 さとじまん 9月25日頃

乾 燥

収穫した籾は、ムシを防ぐため4時間以内に乾燥機に入れましょ。う。コンバインで収穫した籾を急激に乾燥させると胴割れし易くなるので、風乾燥を4~5時間行い水分が20%前後になってから、火力乾燥(40℃を越えない)し玄米水分を14.5%~15%に調整ましょ。う。(循環式乾燥機をお持ちの方は、取扱説明書に従い作業を行いましょ。う。)

機械の取扱い

農作業の安全と品質の確保のため、機械は使用前に取扱説明書を読み、機械の性能にあわせて無理せず作業ましょ。う。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 9月上旬

○果実軟腐病 □ブラール水和剤 1,500倍 66g/水100㍓ 収穫前日

* **スプラサイド水和剤の散布は、収穫60日前までの為散布できません。**

施 肥

9月中旬と10月中旬に分肥 キウイ配合 100kg/10a

後期肥大は、年間肥大の20%程度あります。

肥料の分肥は9月中旬に60%、樹勢回復には10月中旬に40%の2回に分けて行うことで効果が上がります。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【う め】

夏季剪定 9月中旬頃までに、縮間伐・立ち枝の間引きを実施ましょ。う。

樹の内部に光を入れることで、花芽分化の促進をましょ。う。また、夏季剪定の際に残す枝の葉を落とすと翌年の花芽分化に悪影響をましょ。う。注意ましょ。う。

※灰星病発生園での剪定について

- ・結果枝(実のなる枝)に症状がある場合は、切り落とましょ。う。
 - ・被害が多い場合は、側枝単位で切り落とましょ。う。
 - ・樹全体に症状が広がっている場合は、健全な枝(緑枝など)を残し切り落とましょ。う。
- 剪定枝は発生源になるので、必ず園外廃棄ましょ。う。**

【温州みかん】 *下線が引いてあるものは重要防除です。

この時期の病害虫防除は、収穫時の外観・品質へ大きく影響をましょ。う。必ず実施ましょ。う。

病害虫防除 8月下旬 ~ 9月上旬

○黒点病 ・ペンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前* 極早生に散布する際は、収穫日に気をつけてください。

○ミカンハダニ ・ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫前日
ミカンサビダニ 又はダニグッターフロアブル 2,000倍 収穫前日 50ml/水100㍓

○チャノキロアザ ・スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫前日
ミウマ・カメムシ類 又は □ディー乳剤 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫7日前
ヤノネカイガラムシ

浮皮軽減 8月下旬 ~ 10月中旬まで

セルバイン 300倍を20~30日間隔で2~3回散布 333g/水100㍓

【中晩柑】

病害虫防除 基本防除はみかんの項参照

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数には十分に注意ましょ。う。

例) ジマンダイセン水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

○かいよう病 ・コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓
・ICボルドー412 50倍 2kg/水100㍓

※強風や降雨を伴う台風の前はコサイド3000(クレフノン200倍加用)またはICボルドー412を散布ましょ。う。

施 肥 中晩柑は秋季も窒素成分を切らさないようにましょ。う。

初秋肥 9月中旬 特選みかん配合655 140kg/10a(後期肥大促進・樹勢維持のため)

* 10月下旬にもう1度施肥を行いましょ。う。 特選みかん配合655 100kg/10a

【湘南ゴールド】

秋口の摘果では肥大の期待は薄いので、病害虫の被害が著しい果実と極小果を中心に仕上げシンニング(摘果)を行いましょ。う。裾枝・下垂枝の持ち上げ摘果で2S以下を無くましょ。う。

仕上げシンニング (摘果)	9月20日	3.9cm~5.4cm	このサイズを残し、 外観を中心に仕上げ摘果
	11月20日	4.8cm~6.5cm	

仕上げ摘果・枝吊り

10月以降果実の肥大は緩慢となりますので、その前に小玉果、傷果の大きさをそろえましょ。う。果実の重量で枝が折れたり、裂けたりしやすくなるので重たくなる前に、枝吊り、枝支えを必ず行いましょ。う。 **施 肥** 中晩柑の項参照

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【お茶】

施肥 秋肥 9月中旬

秋肥は、貯蔵養分として来年の一番茶に利用されます。光合成が活発化する10月～11月に貯蔵養分として吸収され、越冬芽の充実度に反映し、来年の収穫量を左右します。2回に分肥し1回目と2回目の施肥の間隔は20日程度を目安とします。

1回目 8月下旬 足柄茶配合033 80kg/10a

2回目 9月中旬 足柄茶配合033 80kg/10a

病害虫防除の徹底をお願いします。

病害虫防除 8月中旬～9月上旬

○チャハマキ ファルコンフロアブル 4,000倍 25ml/水100㍓

チャノコカクモンハマキ 摘採7日前

【かき】

枝つり

着色を良くするために、果実の重みで下がった枝を吊り上げて、光を入れるようにしましょう。

病害虫防除

7月上旬～10月下旬 カメムシ（夜間に飛来と加害が多いので、夕方に防除しましょう）

○モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 25g/水100㍓ 収穫前日

○アクタラ顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収穫3日前

○テルスターフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫3日前

* カメムシは山林から飛来して加害します。園の一部に加害が集中する場合があります。園内を良く見回り、加害を発見した時は防除しましょう。（早生種では、加害時期と収穫時期が重なります。収穫前日数には十分に注意しましょう）。

【くり】

病害虫防除 9月（収穫7日前まで）

○クリシギソウムシ アグロスリン水和剤 3,000倍 収穫7日前 33g/水100㍓

* 早生品種との混植園では、早生品種を収穫した後に散布を行いましょう。

収穫

自然に落果した物から速やかに採取しましょう。遅れると虫の被害が多くなります。

【いちじく】

追肥 9月上中旬

樹勢が落ちて上部の葉が小さくなっていたら、化成肥料20kg/10aを追肥しましょう。樹勢回復と貯蔵養分の増加が図れます。

病害虫防除

○疫病 雨が続いた場合は疫病の注意が必要です。

ランマンフロアブル 2,000倍 50ml/水100㍓ 収穫前日

農薬を使用する際は、適用作用・希釈倍数・使用回数・使用方法を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

※ 網掛けの農薬につきましては医薬用外劇物となりますので、購入の際には印鑑が必要となります。

【野菜】

タマネギ

播種の半月前までに、完熟堆肥（2kg/m²）・苦土石灰（100g/m²）を施し、よく土と混和しておきます。未熟堆肥の施用は、タネバエの発生を助長しますので避けましょう。

水稻の後に苗床を作ると病害虫の発生が少なくなります。9月20日～25日を目安とし早生は早めに、中生は遅めにまきましよう。育苗日数は55日～60日を目安とします。

病害虫防除

○タネバエ ダイアジノン粒剤5 300～500g/a 播種時または定植時 2回以内

○ネキリムシ ガードベイトA 3kg/10a 生育初期 5回以内

<果樹カメムシ類の発生に注意！>

農業技術センターからの予察注意報によると、7月3半旬以降、予察灯によるチャバネアオカメムシ成虫誘殺数は平年よりも多く推移しており、増加傾向にあります。フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの成虫誘殺数は、7月4半旬以降急増しており、平年よりも多く推移しています。今後の平均気温は高い予報のため、果樹カメムシ類の活動に好適な条件が続くと予想されます。また、果樹カメムシ類の本来の餌であるスギヤヒノキの球果量が少なく、球果から離脱し果樹類を加害する可能性があります。今後、チャバネアオカメムシ成虫の多くが果樹園に飛来すると考えられるため注意が必要です。

○ほ場内外を見回り、発生を認めたら直ちに防除を行いましょう。

○カメムシ類に適用のある農薬を使用し防除を行いましょう。（収穫期を迎えているものについては収穫前日数に注意してください。）

キウイ：スタークル顆粒水溶剤 1000倍～2000倍 収穫前日 3回以内

ナシ：スタークル顆粒水溶剤 2000倍 収穫前日 3回以内

アクタラ顆粒水溶剤 2000倍 収穫前日 3回以内

☆中井営農経済センターからのお知らせ☆

① 回覧・注文書の取りまとめについて

・ハウスみかん肥料

申込締切日：令和4年9月9日(金)までに

・中井管内の方は、中井営農経済センター（到着）まで

・相和管内の方は、相和支店（到着）まで

・下中管内の方は、下中集出荷場（ポスト）・前羽ポストまたは下中支店（到着）までお届けください。

② 秋肥料・農薬・その他資材等の自己取りについて

・下中管内 令和4年9月6日(火)・7日(水) 9:00～11:00まで

・中井・相和管内 令和4年9月13日(火)・14日(水) 9:00～11:00まで

③ 仮決算棚卸に伴う営業時間の変更について

中井営農経済センターは仮決算棚卸のため営業時間を、

令和4年9月30日(金)8:40～12:00 及び令和4年10月3日(月)13:00～17:00 といたします。

ご利用の皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。